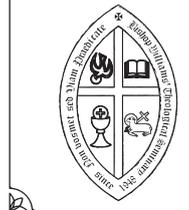


日本聖公会
ウイリアムス
神学館ニュース

2020年
第106号

The Bishop Williams
Theological Seminary NEWS

日本聖公会京都教区
発行・編集人：黒田 裕
〒602-8011
京都市上京区嵯峨門町380
TEL：075-431-5406
FAX：075-431-5445
williams@muc.biglobe.ne.jp



よろしくお願ひします

越川 弘英

今年度から「礼拝学Ⅰ」を担当させていただくことになった越川弘英です。私は日本基督教団の所属で、京都丸太町教会で洗礼を受けました。出身は東京ですが、もともとキリスト教とは関係のない家庭・環境で育った人間です。高校時代に歴史や哲学に関心を持つようになり、さらに宗教学を学んで興味を持つようになり、同志社大学神学部に入學しました。友人の紹介で教会に通うようになって洗礼を受けたのですが、本気で(?)キリスト教に関わるようになってしたのは大学の3回生以降のことでした。

結局、大学院を含めて前後10年間、同志社に在籍し、その間、アメリカのシカゴ神学校(CTS)にも留学させていただきました。私が礼拝を含む実践神学

に關心を寄せるようになったのがこの留学の時代でした。当時、帰国後は牧師として働かせていただくかと考えていたために、同志社ではなかなか学ぶことのできなかつた実践神学系の科目を中心に履修しました。それは1980年代の初めで、世界的なリタージカル・ムーブメントの成果がアメリカの神学校でも様々な形で反映され始めた時代でした。後に私が翻訳させてもらったJ・ホワイトやW・ウィリモンといった研究者たちの著作が講義のテキストや参考文献として紹介されていました。またCSTの周囲にはいろいろな教派の神学校が集まっており、単位互換制度もあったため、カトリック、会衆派、ルター派、改革派など、いろいろな背景のもとにある教会や礼拝に触れることも

できました。他方、日曜ごとにシカゴにある日系人の教会に出席し、当時、80歳代以上の平均年齢だった日系一世の方々と礼拝を共にしながら、多くのことを教えられたことも忘れられません。東京で2つの教会において牧師として14年間働き、現在、同志社大学キリスト教文化センターの教員です。これまでいろいろな

道を伝えて

教会での「説教」のことを中国語で「講道」(ジャンタオ)と言う。道とは言うまでもなく福音のことである。「道を講ずる」はつまり「福音を宣べ伝える」ということになる。中国での経験も長いウイリアムズ主教の生き方を表すのに、「道を伝えて…」という表現はまさにぴったりという言葉である。

最近、朝鮮半島の民衆宗教である「天道教」の教会が、唯一神戸市長田区で存続しているということが報道された。天道教は一八六〇年に「東学」の流れを汲む新宗教として始まり、人間尊重と万人平等思想を基盤として、民衆の間に広がった。「天道」とは

人々や学生たちと触れ合いながら教えまた教えられてきました。が、今回、聖公会というバックグラウンドの学生の方たちと触れ合う中で、どういう学びが待っているのか、私としてもたいへん楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

(こしかわひろひで 本館教授 礼拝学Ⅰ)

言うまでもなく「天の道」すなわち普遍的な真理を表している。一九一九年の「三・一独立運動」では、キリスト教と協力してその中心的な力となった。

「道」と言えば、イエスさまも「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」(ヨハネ一四・六)と語られた。この「道」(ホドス)もやはり、真理に至る道を示しているが、同時にイエスさま自身が真理であると教えておられる。わたしたちは、イエスさまご自身を体験しなければ福音の真髄に触れることができないのである。

(司祭 岩城聰 いわきあきら
本館教授 教会史、教理学Ⅰ)

「祈りつつご奉仕できる喜び」 主事 前田 伸子

主の平和がありますように。

4月1日より「主事」を拝命いたしました。大津聖マリア教会信徒の前田伸子です。

昨年、ウイリアムス神学館館長の黒田司祭より「お手伝いをしていただけませんか」とお声掛けをいただき、その時は「主事」という重い肩書きは頭の片隅にも無く、ただ私が今まで培ってきたものがお役に立てるのであればという思

いでお引き受けいたしました

今年の1月からお手伝いをしていたのですが、神さまはこのような私の働きで良いのだと4月から「主事」に用いてくださいました。

神学生と同じ思いで入学礼拝に臨み、「神の助けによつて励みます」という誓いの言葉を心の中で唱えていました。礼拝後、ウイリアムス神学館理事長の京都教会・高地敬主教様から「任命書」をい

ただきました。改めて身の引き締まる思いです。

以前、私が母教会のお説教で聴いたマタイによる福音書11章25〜30節が蘇りました。特に30節の「わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」の箇所ですが「軛」は二頭の牛を同時につなぐように作られています。イエスが『わたしの軛』とここで言うのは、この軛の一方をイエスご自身が担って下さるからです。」とお話しされました。高地主教様

から頂いた任命書もイエス様が一緒に受けて下さったのです。本当に心が軽くなりました。イエス様のみ言葉を信じて、祈りつつご奉仕に励みたいと思います。

信仰者としては皆さまの足元にも及びませんが、神学生の学びとウイリアムス神学館に関わっておられる其々の皆さまのお働きのお手伝いができればと思っています。主に感謝します。

(まえだのぶこ 本館主事)

大津聖マリア教会信徒

新入生紹介①

「憂いしつつ感謝しつつ」

ステパノ 高野 洋

横浜教区出身、1年生の高野洋と申します。

これまで30年余りサラリーマンとして化学系の仕事をしてきました。定年前に会社を辞め、教区の聖職候補生として、ウイリアムス神学館で勉強させていただくことになりました。

神学館では、新型コロナウイルスの影響で、教会実習は中断しています。また講義の約半数はWebを活用している状況です。

講義内容は新鮮でとても面白いのですが、宿題や苦手な記憶モノも多いので苦しみます。もつと

高尚な悩みであれば恰好が良いのですが、自分は勉強が艱難です。時々「もう無理かもしれない…」と追い詰められます。ですが、しばらくすると心が落ち着き、続けていけそうな気持ちになります。こんな時は、何かに救われていることを感じます。

また、先生方をはじめとした神学館の皆さんや食事を作ってくださっている皆さんにも救われていきます。皆さんに助けていただき、本当にありがたいと思います。なんとか続けていかなければと思います。



先日家内に「お父さん若くなっただね！」と言われました。他の神学生と寝食を共にしている効果だと思えます。年齢は高い方ですが、一から勉強です。少しでも恩返しできる時が来ることを祈りつつ。どうぞよろしくお願いします。

(たかのひろし 横浜教区聖職候補生)

新入生紹介②

「一歩」

サムエル 藤井 和人

私の趣味のひとつに登山があります。これまで関西の山を日帰りや登り、夏には北アルプスの山を何泊かして登りました。一歩一歩噛みしめながら登っているとき、自分の心が洗練され、自分らしさを取り戻したような気持ちになります。またこれまでの自分を振り返り、将来のビジョンが見えてきたりもします。山の頂上で、湯を沸かして飲むコーヒは格別においしいです(インスタタン



トですが…)。
 さて、山に登っていると、「登
 山って人生そのものだな」と思う
 ことがよくあります。特に、ごつ
 ごつした岩のある険しいところで
 は、どのように進もうか迷います。
 けれども、とにかく「ここかな」と
 思えるところに、一歩前に足を踏
 み出してみる。すると、また次の
 一歩が見えてきて、そこからピョ
 ンピョンと進めることがよく
 あります。人生も同じように、将
 来に迷っていたとしても、とにか
 く一歩前に踏み出してみると、そ
 こからまた新たな一歩が見えてく
 るのだと思います。私にとって、
 その大切な一歩がウイリアムス神
 学館に入学することであつたと思
 いめぐらします。この一歩を神様
 におゆだねして、これからもうろ
 いろな学びや課題に取り組んでい
 こうと思います。
 (ふじいかずひと 京都教区神学生)

新入生紹介 ③

「ご挨拶」

ダビデ 梁 權 模

皆さん、初めまして。今年の新
 しい神学生として入学した、梁と
 申します。また、今年の新入生の
 中で一番若手でもあります。

苗字の通り、私は韓国から日本
 へ来ました。日本で生活すること
 はもう七年目になります。最初は
 留学生として、京都精華大学で漫
 画とアニメーションを自分の専門
 として勉強しました。日本に来る
 前は、日本の漫画とアニメーション
 に興味を持っていたので、それを
 学んで自分の作品として何か素晴

らしい作品を作りたいと思ってい
 ました。

そうだった自分ですが、なぜ、
 神学館で勉強をしようと思ったか
 に関して語りますと、自分自身の
 意思もありましたが、出身教会の
 方々より勧められたことが大き
 かったと思います。最初は私の教
 父から聖職者になるのはどうかと
 お話を聞いたことから始め、教会
 の方だけでなく他の方々からも似
 たような話を聞かせていただくこ
 とがきっかけとなりました。

また、自分の進路に関して真剣
 に悩んでいたこともありました。
 大学院修了後、自分の専門とは違
 う職種で働いておりましたが、自
 分が本当にしたいこと、したかった

ことは何であろうかと悩んでいる
 時期がありました。その時、出身
 教会の牧師とこのことについて相
 談する機会があり、その結果神学
 校で勉強することを決めたのです。
 勉強する中で様々な悩み事が
 私を襲う時、私を導いてくださる
 神に頼り、神のみ助けの中で深く
 学びたいと思います。

(やんくおんも 京都教区神学生)



同窓会通信

「日本聖公会に神学校は二つ必
 要ですか。」この問いは二十数年
 前、私が神学館に入学した頃す
 でにありました。その問いに對して
 故森紀巨館長は、「特徴のある神学
 校が二つあることが大切だ」「神学
 教育が日本聖公会を築くのだけ
 ら」と語られました。では神学館の
 特徴とは何か。某司祭より「ここは
 道場や」という示唆を受けつつも、
 私の神学館生活は始まりました。

炊事、洗濯、掃除、礼拝、授業とこ
 なすのは大変でしたが、そのすべて
 が神学教育であつたと思います。
 牧会に裏付けられた授業は、知識の
 ための知識ではなく、指導司祭のも
 とで行われる教会実習もまた、将
 来の牧会において貴重な経験とな
 りました。

それらの教育を貫くのは神学館
 への情熱です。森先生も「神学館
 スタッフの情熱はものすごい」と
 語られていました。しかしその情
 熱は、スタッフにとどまりません。

実習教会で感じたのは、やはり神
 学教育への情熱でした。信徒・聖
 職が一緒になって聖職を育ててい
 こうとする強い思いが、神学館の
 根底に流れていたのです。

去年は実習した聖光教会の同窓
 会？が清里で持たれ、聖光の皆さ
 んと再会しました。神学教育は続
 いていきます。小さな神学校を後援
 会、同窓会等を通じて支えること
 は私たちの幸いです。

(司祭 大野 清夫 おおの きよお
 清里聖アンデレ教会 牧師)

新型コロナウイルスの影響下で

新型コロナウイルス(※以下、「コロナ」とのみ表記)の感染拡大を受け、今学期は異例の対応を迫られました。そのいくつかをご紹介します。

◇遠隔授業の実施

本館の場合、本科生は全寮制であり休校は却って学生の外出の機会が増えることとなります。むしろリスクが相対的に高いのは、学外から通ってこられる聴講生、教職員、スタッフと思われれます。また、年齢や基礎疾患の有無、交通手段、ご家族にご高齢の方や基礎疾患をお持ちの方がおられるかによってリスクは異なります。そのため個別に対応し、メールやオンライン



オンライン授業の様子(教会音楽)

ンを利用した遠隔授業も行いました。幸い6月からは全科目で対面授業を再開しています。

◇2020年度キリスト教講座

毎年好評の「今さら聞けない!? キリスト教」講座ですが、4月の休講に続き、結果的に今年度は全面中止といたしました。講師に嶺重淑本館教授(関西学院大教授)をお迎えし「新約思想編」をテーマに行なう予定だったのですが、とても残念です。来年度もどうなるか予断を許さない状況です。なお、過去の講座(2016-2019年度)の動画は随時視聴可能です。詳しく

米国ヴァージニア神学校関連のニュース

◇イエー先生来日の中止

この5月に予定されていたヴァージニア神学校のJ. イエー先生の来日ですが、やはりコロナの影響でキャンセルとなりました。連休明けから一か月程の滞在中に神学館で関連の授業やセミナーを計画していただけにとても残念です。先生も大変丁寧にご配慮に満ちたメールを下さり、「このような判断をすることとなりとても残念ですが、また別の機会に訪日し近い将来神

くは本館にメールでご連絡いただくか、公式HP「キリスト教講座」のページをご覧ください。

◇そんななかでも...

コロナの影響による自粛につぐ自粛。何かと気分がふさぎ込みがちになるなか、普段は電車通勤のためご自宅で待機しておられた食事担当の方からこんな贈り物が...



とても元気づけられました。感謝!

◇D. Minコースへの入学

そのJ. イエー先生がかねてより「望みます」とのことでした。いつか満を持して協働企画を持てますように。

そのJ. イエー先生がかねてより薦めて下さっていた同神学校のD. Min(ドクター・オブ・ミニストリー)コースに今年度、黒田裕館長が入学しました。毎年4月中旬〜6月後半の在宅でのオンライン授業の後、3週間のスクーリン

グが現地で行われ、最短3年間で学位を取得できる課程です。しかし、やはりコロナのため今年の渡米は中止。その期間もオンラインでの受講となりました。今も6月後半のクラス発表に向けて勉強中ですが、殊に4月の開始時からの5週間は提出物が凄まじい量だったようで青色吐息?の館長の様子が伺えました。

神学館の1学期

4月

2日 入学礼拝
7日 1学期授業開始

6月

27日 1学期終了

7月

6日 試験週
12日 1学期教会実習終了
16日 終業日

今後の予定

9月

1日〜5日 夏期実習
(実施未定)

10月

6日 他教派礼拝出席
9日 2学期授業開始
6日〜8日 体験入学
26日〜31日 リセス

11月

21日 2学期授業終了
30日 レクイエム